



月報

# 岡崎の教育

8月号

平成11年8月1日

発行/編集  
岡崎市教育委員会

今月の学校紹介  
～秦梨小学校～

## 紙面から

### 教育随想

「本市の昨今の教育」

石垣市長 大濱 長照氏

### 羅針盤

「心の教室」から

生徒指導指導員 中根 俊忠

### この人に聞く

岡崎剣道連盟会長

石川富三郎氏

### 特集

電力を考える

### ふれあい

A君、ありがとう

藤川小学校 鶴田 秀幸

### 師弟同行

前葵中学校長 深津 武司

北中学校 土田 修義

### フォト・ヒストリー岡崎の教育

記念樹「ケヤキ」(昭和五十二年)

体験を通して学ぶ秦梨っ子

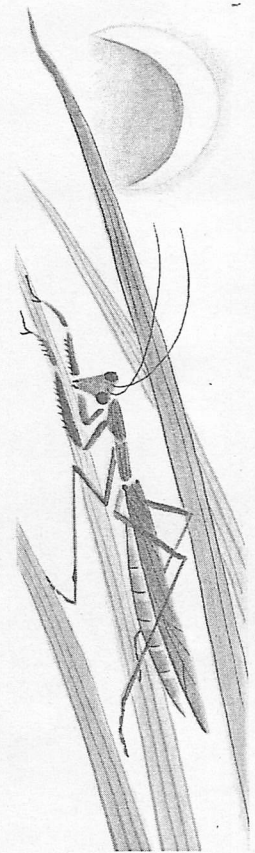


緑と清流のふるさと

### はだなしあいさつ運動

は きはきと  
 だ れにでも  
 な んどでも  
 し らないひとも  
 しょうよ あいさつ

— 教育随想 —



# 本市の昨今の教育

石垣市長 大瀧 長照

夏真つ盛り、蝉の声に負けじと子どもたちが大声を張り上げ遊泳を楽しんでる光景は、道行く人々に潤いと活力を与えてくれる。

本市は、沖縄県の最南端に位置し、亜熱帯の海と太陽に恵まれ、県下最高峰の於茂登岳を中心とした風光明媚な所である。

本市教育委員会では、すべての幼児児童生徒が健やかでその資質や能力を豊かに開花するようによい環境づくりに努めると共に、先人が築いてきたすばらしい教育風土のもとで子どもたちの自主性を培い、郷土を愛する誇りや、自然の恵みを正しく知ることを基本とした幼児児童生徒の育成を推進している。

二十一世紀を目前にして、現代の

社会は高度情報化や国際化が進み、これからの教育は、生涯学習の基礎を培うという観点に立ち、社会の変化に自ら対応できる心豊かな人間の育成が重要視される。

昨今の本市の教育においても、高度情報通信設備（マルチメディア）の効果的な活用への在り方の研究も高まり、テレビ会議システム等での授業やその他の実践的な活動も活発に行われている。さらに『学校図書館情報化・活性化推進モデル地域』に文部省より指定され、学校図書館のコンピュータ化に伴い、他の図書館等とのネットワーキ化を図ることによって、児童生徒の学習活動の支援、学習情報センターとしての機能の充実・活性化に努めている。

平成六年度においては「郷土を愛し、豊かな心を養い、自ら考え行動するいしがきっ子の育成」を研究テーマに掲げ、文部省指定の地域道徳教育推進事業に取り組み、今日まで継続研究を推進している。研究の一環として実施している花壇コンタールは、月刊誌『道徳と特別活動』に植物栽培という自然体験活動を通して、豊かな感性や自然愛などの道徳性を培うことをねらったものとして紹介された。

ワールドカップブライアスロン石垣島大会では、全児童生徒が応援し、翌日は各学校で一流選手との交流会が催され、国際的視野を養うと同時に夢と希望を全児童生徒が膨らませていた。

また、教育にへき地があつてはならないと、教育に関する専門的、技術的事項の研究及び研修の場として「石垣市立教育研究所」も設置され、教職員の資質の向上に寄与している。

結びになりましたが、今後とも連携を深め、岡崎市のご発展と限りなくご繁栄を祈念致します。

（おおはま ながてる）

## 「心の教室」から

生徒指導指導員  
中根 俊 忠

昨年二学期より、「心の教育相談員」が全中学校に配置された。

また、先進的な医学知識や健康問題の現況等をタイムリーに収集し、親や子の相談に応じる体制を強化するため、「心の教室」にコンピュータも設置された。

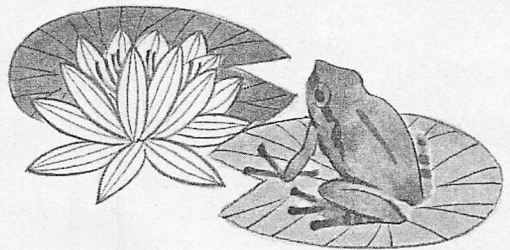
インターネットで不登校のページを検索すると、

「不登校が始まってから、もう一年と四か月ほどになります。小学校六年生の三学期から、学校を長欠する日が多くなりました。発熱、吐き気、頭痛などの体調不良のためです。まさか、不登校？何故？うちの子が？そんなはずはない…。でも、病院を何軒も回ってもどこも悪くない…。  
そして…春…。  
どの子も新しい制服を着てとって



ふるさとシリーズ

# この人に聞く



## 岡崎剣道連盟会長

石川 富三郎 氏

剣道教士七段の石川さんは、昭和四十九年から十五年間、岡崎剣道連盟の理事長を務められ、その後会長として現在まで四半世紀にわたり岡崎の剣道界をリードされてきた。まず、剣道との出会いと魅力を次のように語られた。

「小学校の五年生のころ、従兄弟が剣道をしている様子を見て憧れしました。早速、岡崎警察署で剣道を始めました。当時は毎朝五時ごろ防具を担ぎ、走って練習に行ったものです。今まで続いているのは、剣道が性に合っていたんですね。」

「剣道の魅力は、竹刀と対峙しているときの打つか打たれるかの緊張感と、やった後の爽快感です。剣道を始めてから病気をしたことがありません。」

石川さんは、自ら精進すると共に長年にわたり、市内の高等学校の剣道講師として、青少年の剣道の育成にご尽力された。

昭和五十二年には多くの教え子の協力を得て、小中学生を対象に葵剣友会を開かれた。

「剣道をやれば素直になります。何もかも忘れて竹刀を振っているうちに心が洗われ、邪念を払います。剣道が続いている子に悪い子はいません。」

「厳しさがあるから子供がついてきます。今の子供には特に礼儀を教えています。」

葵剣友会は、岡崎を代表する剣道クラブとして全国大会へ何度も出場するなど大きな成果を上げている。また、昭和六十三年には、教え子連れでブラジル、アメリカへ遠征にも出かけられた。

「子供を教えることが大好きです。そして、教え子の活躍が本当に楽しみです。正月には、家に入りきれないほどの教え子が訪ねてきて

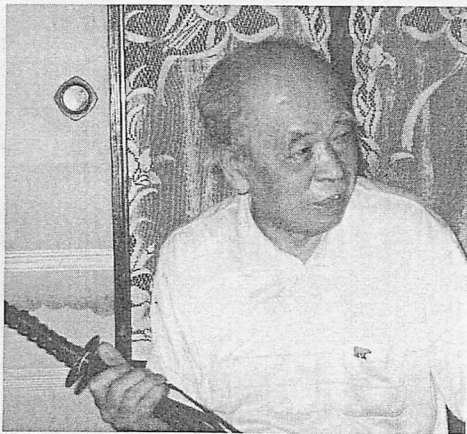
くれますよ。」

剣道に対するひたむきさとその人柄が、多くの教え子の信望を得ている。

石川さんは、八十才になられる現在でも週に三度は防具をつけ、練習をされているとのこと。そして京都で開かれる全国大会に毎年参加されるという。まさしく剣道一筋。

「すばらしい師を得たおかげで今の私があります。また、剣の道にこれだよということはありません。死ぬまでが修業です。」  
生涯現役を貫く石川さんの言葉は強い。

氏名 石川 富三郎  
生年月日 大正八年二月二十一日  
住所 能見町二三五



も立派に見えた、息子のいない中学校の入学式：。

欠席したのは、うちの子だけでした。いろいろな思いが、頭の中で渦巻いて、涙が出てきた入学式でした。」

このような記事が目にとまった。今、教室に入ることができず、保健室や適応教室で過ごす生徒がいる。相談にかかる生徒も少なくない。

就職経験のあるAさんは、相談員の一人である。適応教室の生徒たちに親身になって接して下さっている。

生徒とともに、活動計画を具体的に分かり易く立て、掲示される。昨年はルームの生徒らがクッキーを作り、クリスマス会を開いたり、アルミ缶回収の手伝いや、美術館の見学にも行った。さらに、進学のために、職員で時間の都合をつけて個人授業を実施した。

適応教室という居場所があり、少数の集団なら抵抗も緩和され、徐々に社会的な心も育ち、直っていく。一人でも不登校児童生徒が教室復帰できるようにと願わざるを得ない。

### 推薦する専門書

「構成的グループ・エンカウンター」

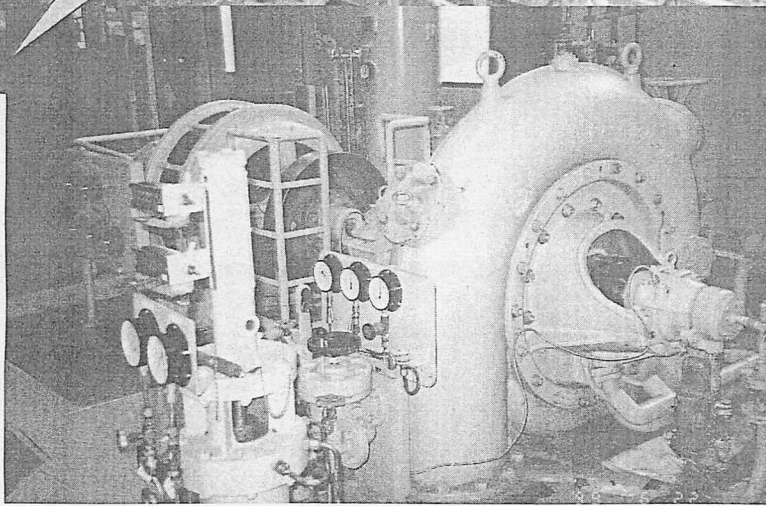
誠信書房

「心の教育とカウンセリング・マインド」

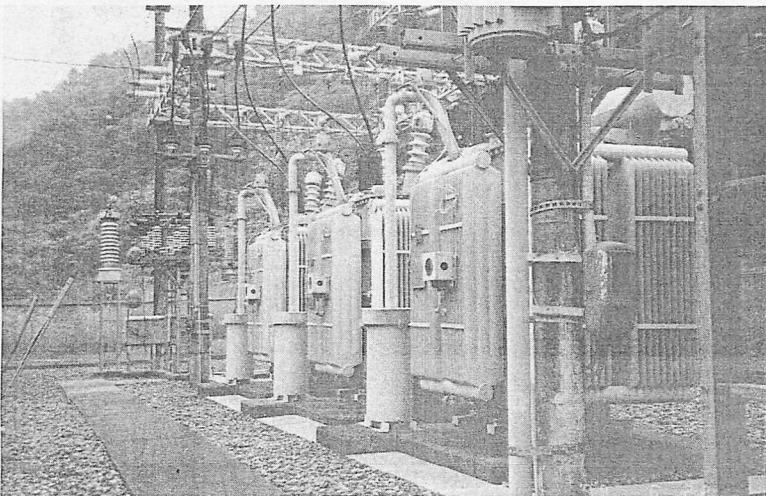
東洋館出版社

# 電力を考える

自然の恵みを利用した発電



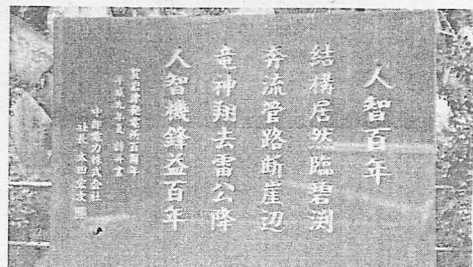
▲昭和2年から回り続ける発電タービン



▲各地に電力を送り出す変圧器

新しい電化製品により、わたしたちの生活は日々快適になってきている。それに伴い、快適さを支える電力需要も、増加の一途をたどっている。増え続ける需要に対し原子力発電の開発が進められているが、環境への影響も心配されている。地球環境の立場から発電を考えると、百年の歴史をもつ岩津発電所の水力発電や最新の岡崎郵便局の太陽光発電は、自然の恵みを利用した価値のあるエネルギーであることに気づく。

環境への意識が高まっている今、たとえ、どんなに発電量が小さくても、わたしたちの未来にとって大きな意味をもつエネルギーなのではないだろうか。

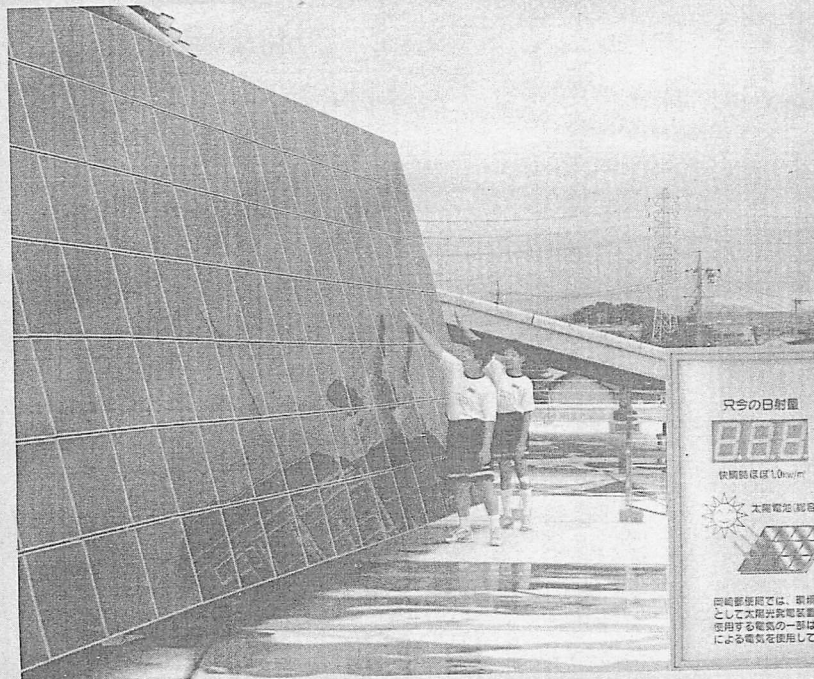


▲100周年の記念碑

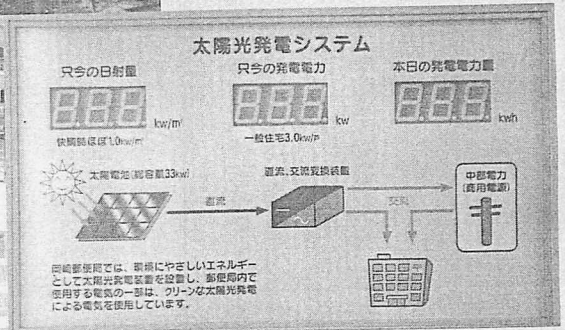


▲新しくなった岡崎郵便局

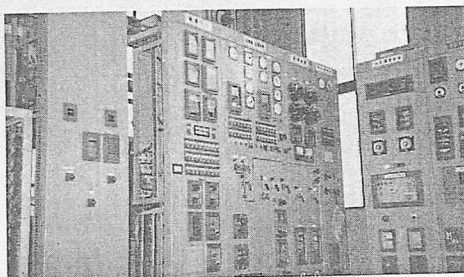
今年二月二十二日にオープンした岡崎郵便局（戸崎町）では、地球環境にやさしい郵便局を目指し、太陽光発電システムを導入している。すでに、このシステムは広島県の三原郵便局のほか六局で試行実施されている。  
鉄筋四階建の局舎の屋上には、畳約四一〇枚分の大きさの太陽電池パネルが設置され、郵便局の照明及び空調用電力に使われている。最大発電能力は約三十三キロワットで、局全体の消費電力の七パーセントを賄っている。



▲屋上に設置された太陽電池パネル



▲発電量を知らせる表示版



▲送電・水位などのコントロールパネル



岩津発電所は、明治三十年（一八九七年）、巴川の支流・郡界川を利用して、岡崎電燈合資会社によってつくられた水力発電所である。岡崎電燈は、杉浦銀蔵・近藤重三郎・田中功平の三氏によって設立され、西三河地方初の電灯を岡崎市内にともした。  
 現在、岩津発電所の出力は一三〇キロワット（一般家庭の約三〇〇軒分）。中部電力管内で、運転を続けているものの中では最も古く、最も小さい発電所である。



▲有効落差約54メートル  
95メートルの送水パイプ

# ふれあい

## A君、ありがとう

藤川小学校

鶴田 秀幸

「先生、この子には手こずるよ。覚悟しておいてね。」  
家庭訪問での母親の第一声だった。

確かに表情も硬く、口数も少ないA君。話しかけても、受け止めてくれていたのかどうかは、はっきりつかめない。よしっ、この一年、この子の良い所をいっぱい見つけてやろうと心に誓ってスタートした。

四月。ヒマワリの種まきをした時、教室が土で散らかってしまつた。みんなは、まいたばかりの種に夢中になつていたが、A君は手でサツサツと土を集めていた。

「A君、ありがとう。」  
という言葉葉をかけたが、反応することもなく、彼は黙々と土集めを続けていた。



その日の帰り、彼の行動を学級のみんなに紹介した。その時の、やははにかんだ彼の口元が、印象的だった。  
ヒマワリの芽も成長し、学校から少し離れた畑に植え代えたので、次第に子供たちの足も遠ざかっていった。私は、「水をやらないと、ヒマワリ枯れちゃうよ。」  
と、学級で呼びかけた。  
授業後、畑に行ってみると、そこにA君たちの姿があつた。  
「水をあげに来てくれたんだ。うれしいな。」  
A君は軽くうなずいた。私の心を受け止めてくれたと感じる瞬間だった。

# 師弟同行

## 理科教師の「根っこ」

北中学校

土田 修義

「修義君の希望通り普通科を受けさせてあげて下さい。」  
中三の進路決定の時、わざわざ家庭訪問して、私の父親を説得してくださった先生の姿が、今もありありと思ひ出されます。

先生には南中で三年生のときに担任をしていただきました。理科大好き少年の私に、一年間理科室掃除をさせてくださったこと。受検校決定のときの先生の温かな応援。自分の中に先生という仕事への憧れがしっかりと根づきました。



いがありました。当時、「一人調べ」を軸とした授業の研究成果の出版計画もあり、先輩先生方の指導のもと猛烈に勉強させていただきました。この経験が自分の理科教育の基盤となっています。

先生との出会いから私自身の理科教師の「根っこ」ができてきたように思います。この根を大切にしたいと思います。

## どこまでも子供を信頼

前葵中学校長

深津 武司

中学当時の家庭訪問のことは今でも頭に残っています。土田君とご両親との考えが異なっていました。私自身、中学生のとき、よく似た状況でしたから、そのことと重な

り合つて、何か伝えたいことがあつたのでしよう。  
土田君は、学習もスポーツも前向きに取り組む少年でしたが、常に心に秘めた信念を持っていて感じています。

三島小学校で研究発表会があった折、土田君の授業を参観しました。子供たちの考えを生かした一人調べを取り入れたものでした。小学校の理科学習としては、かなり思い切つた実践でした。子供たちの活動の様子から、指導者はよく勉強していると参観者は感じました。子供たちにとって何が大切か、先を見通した授業であつたからです。中学校へ転動してからも、理科を含め、いくつかの領域で頑張っているとのこと、うれしく思います。  
私は今、高校生に物理を教えていて、中学校教育の大切さを感じています。  
子供をどこまでも信頼し、どの子も生きる理科、総合学習を、チームを組んで実践してください。



お知らせ

◆平成十一年度環境保全関係  
活動功労者表彰

・知事表彰

矢作北中学校生徒会

・環境保全ポスター入賞

二席 甲山中三年 鈴木咲衣

三席 甲山中二年 小野田真弓

甲山中三年 中堀賢治

◆第二十五回交通安全三こども  
自転車岡崎地区大会

・団体の部

優勝 大門小学校 A

二位 竜美丘小学校 A

三位 梅園小学校 A

・個人の部

優勝 大門小六年 堀口直也

◆ライオンカップ第十九回全  
日本小学生バレーボール大  
会西三河予選大会

男子優勝 矢作北 A

女子優勝 山中ジュニア

女子優勝 山中ジュニア

●第43回岡崎市中学校総合体育大会

水泳競技の記録

★新記録

性	種目	氏名	校名	記録	
男	50m自由形	白井 佳	竜南	28"7	
	100m自由形	久米田 英一	六ツ美	57"4	
	200m自由形	井土 勝博	附属	★2'08"0	
	100m平泳ぎ	三浦 圭太郎	矢作	1'16"7	
	100m背泳ぎ	中村 亮太	竜海	★1'05"4	
	100mバタフライ	稲石 卓也	竜南	1'07"6	
	200m個人メドレー	神谷 亮一	矢作	2'33"6	
子	400mリレー	天野・白井・稲石・市橋	竜南	4'09"7	
	400mメドレーリレー	中村・高木・荒井・早川	竜海	4'39"6	
	男子総合	1 竜海 2 竜南 3 六ツ美			
	女	50m自由形	亀山 淳子	甲山	30"0
		100m自由形	小野田 桂子	城北	1'06"5
		200m自由形	藤 墳 ゆかり	竜海	2'22"7
		100m平泳ぎ	金山 麻由美	矢作北	1'22"0
100m背泳ぎ		鈴木 千絵	岩津	1'12"5	
100mバタフライ		川畑 愛海	附属	1'13"2	
200m個人メドレー		山本 記穂	葵	2'37"8	
子	400mリレー	斎藤・渡辺・中並・藤墳	竜海	4'35"0	
	400mメドレーリレー	大原・中並・藤墳・斎藤	竜海	5'16"9	
	女子総合	1 竜海 2 甲山 3 葵			

三位 城北中学校

◆第二十三回愛知県中学生女  
子ソフトボール春季大会

子ソフトボール春季大会

子ソフトボール春季大会

優勝 城北中学校

二位 矢作北中学校

◆第二十三回西三河中学生女  
子ソフトボール春季大会

子ソフトボール春季大会

六ツ美中三年 山本理恵

六美北中一年 田嶋みゆき

男川小四年 澤田 歩

市長賞 上地小三年 小林瑞樹

市賞 城南小二年 阿知波卓哉

市賞 大門小五年 鈴木彩日

市賞 南中三年 小栗奈津子

・習字の部

市長賞 上地小三年 小林瑞樹

市賞 城南小二年 阿知波卓哉

市賞 大門小五年 鈴木彩日

市賞 南中三年 小栗奈津子

◆平成十一年度緑化推進・動  
物愛護児童生徒作品展

・描画・ポスターの部

市長賞 城南小二年 阿知波卓哉

市賞 大門小五年 鈴木彩日

市賞 南中三年 小栗奈津子

市長賞 上地小三年 小林瑞樹

市賞 城南小二年 阿知波卓哉

市賞 大門小五年 鈴木彩日

市賞 南中三年 小栗奈津子

◆第二十三回西三河中学生女  
子ソフトボール春季大会

子ソフトボール春季大会

優勝 城北中学校

二位 矢作北中学校

◆第二十三回愛知県中学生女  
子ソフトボール春季大会

子ソフトボール春季大会

三位 城北中学校

◆第二十三回西三河中学生女  
子ソフトボール春季大会

子ソフトボール春季大会

優勝 城北中学校

二位 矢作北中学校

◆第二十三回愛知県中学生女  
子ソフトボール春季大会

子ソフトボール春季大会

三位 城北中学校

◆第二十三回西三河中学生女  
子ソフトボール春季大会

子ソフトボール春季大会

優勝 城北中学校

二位 矢作北中学校

◆第二十三回愛知県中学生女  
子ソフトボール春季大会

子ソフトボール春季大会

三位 城北中学校

◆第二十三回西三河中学生女  
子ソフトボール春季大会

子ソフトボール春季大会

◆親善訪問使節団派遣

岡崎市は、姉妹都市である  
米・ニューポートビーチ市へ  
今年も中学生親善訪問使節団  
を派遣する。結団式が六月二  
十一日に行われた。

一行は、十月六日に出発し、  
現地の学校や市役所の訪問、  
ホームステイなどを通して市  
民との交流を深める予定。

使節団は、次の皆さんです。  
〈生徒〉美川中 永井 基文  
竜海中 神谷 昌宏  
河合中 杉田 結花  
常磐中 岩瀬 桃子  
市教委 岡田 豊  
南中 伊與田美智代

●平成11年度夏期実技講習会

教科・領域	期日	会場	人数
国語(書写)	8.2	細川市民センター	50
社会	8.2	中央クリーンセンター	40
算数・数学	8.3	葵中学校	50
理科	8.2	緑丘小学校・緑丘市民ホーム	50
生活	8.2	井田小学校・井田学区市民ホーム	50
音楽	8.3	太陽の城	50
図工・美術	8.2	おがざき世界子ども美術博物館	40
家庭(小)	8.2	愛知県畜産総合センター	24
技術・家庭(中)	8.2	六ツ美北中学校	50
英語	8.4	勤労文化センター	70
特殊教育	8.2	教育研究所(六名会館)	40
視聴覚	8.2	岡崎市情報ネットワークセンター	50
特別活動(野外活動)	7.28~30	岡崎市少年自然の家	50
情報教育	8.2	葵中・甲山中・城北中	120
学校図書館教育	8.2	岡崎商工会議所中ホール	90
学校保健	8.2	愛知県心身障害者コロニー	50



▲環境保全関係活動功労者表彰(矢作北中)  
一生徒会河川美化活動(7月15日)

# フォト・ヒストリー 岡崎の教育

新学制発布 30周年

## 記念樹「ケヤキ」

(昭和52年)

・カ  
ット

甲 山 中  
山 田 泉 美

昭和五十二年、新学制発布三十周年記念として、記念樹「ケヤキ」が市内全ての小学校に配布された。

この年、市内三十八番目の小学校として誕生した城南小学校でも、南校舎前に十二本のケヤキが植えられた。

このころから、さらに地域緑化の重要性が認識され、緑化意識の高揚が図られるようになった。



写真提供 城南小

奥山から送られてきた電気です。初めて電灯がともったとき、その明るさにさぞ人々は、驚いたことであろう。

今、快適な生活ができるのは、先人の計り知れない知恵と努力があったればこそ。

夏真っ盛りのこの時期。クーラーをかけながら、ふと思う。

### シ オ

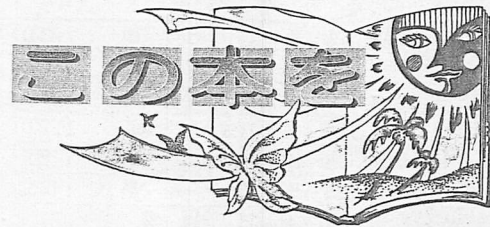
### ス ア

汗にまみれた胴着を洗い続けてこられた石川さんの奥さんは語る。

「すべてを投げ打った剣道人生。こんな幸せな人はいません。」

八十才を超え、なおも一つの道を極めようと修練を続けるその姿に、改めて人生を考える。

スケッチブックに納まりきらないほどに大きく成長した校庭の木。子供が変わり、先生が変わり、学校がどんなに変わっても、校庭の木々はいつもそこにある。子供たちの健やかな成長を願って植えた、その思いと共に。そして、これからも見守り続ける。



- \*はるかな父へ 馬場あき子 ￥1300  
小学館
- \*子どもにウケる科学手品77 後藤 道夫 ￥820  
講談社
- \*天池 日野 啓三 ￥2000  
講談社
- \*あなたの子どもを救えますか 野口 桂子 ￥1400  
マネジメント社

- \*くずかごの中の詩 星野 佳正 ￥1500  
理論社

不登校をしていたモヒカン刈りの生徒が書いた詩三編。若者の心に潜んだ詩心に感応した著者・星野校長は、この生徒との交流の中から、心を揺さ振られる詩を次々と手に入れていく。

「モヒカン刈りの生徒は、私の最大の教師」という著者の思いが、本書を貫いている。

子供の言動に感応できる感性、これこそ教育の営みの根本である。そんな思いを強くさせられる。